

大学生生活協同組合でのエコマークフェア実施および
アンケート結果とりまとめ報告書



～環境にいいことをしよう。エコマークを選ぼう～

2008年5月
財団法人 日本環境協会 エコマーク事務局
全国大学生生活協同組合連合会

目次

1. はじめに
2. 実施概要
3. 実施店舗の取り組み状況
4. 学習会について
5. アンケートの実施
6. フェアによる効果検証
7. コスト
8. 総括

1. はじめに

本フェアは、エコマーク事務局をして初の試みとなる「大学生協」との協働である。
この企画立案のきっかけとなったのが、信州大学での ISO14001 取得における、大学生協の環境マネジメントシステムの一環として、「環境に配慮した商品の棚を作る」という目標を盛り込むというアイデアであり、今後は学生が商品を購入する場である大学生協で、エコマーク商品をはじめとする環境配慮商品を選択して購入するというエコアクションを意識するきっかけとしてだけでなく、キャンパスでの環境活動推進のため、また環境マネジメントシステム下での活動の一環としてこのフェアを位置づけていけたらと考える。

2. 実施概要

(1) 目的

「教育の場からエコマークの普及を図ること」。大学生協店舗や環境セミナーを通じて環境に配慮した商品「エコマーク商品」の購入、促進について教育の場でのグリーンコンシューマーの育成や大学生協のエコマインドの醸成を図るとともに、より良いエコマーク制度作りの推進を協働で実施することを目的とする。

(2) 日程

2007 年 10 月 22 日(月)～12 月 26 日(水)

※実施時期は各大学生協で異なる(下記参照)

(3) 実施内容

○店舗での取り組み

生協店舗においてエコマーク専用棚を設置。ポスター、POP 等で啓発を行い、エコマーク商品の購入、グリーン購入を推奨した。

○アンケートの実施

エコマークや学生の環境意識・日頃の環境活動についてのアンケートを実施。回答者にはオリジナルエコバッグなどをプレゼントした。

○学習会の開催

また本フェアは、1. のとおり大学生に対しての環境教育を主目的としているため、各大学でエコマーク自体への理解を深めてもらう学習会を開催した。

○主催

財団法人日本環境協会 エコマーク事務局、全国大学生生活協同組合連合会

○実施大学生協: 信州大学生生活協同組合・東北大学生生活協同組合・早稲田大学生生活協同組合・明治薬科大学生生活協同組合(50 音順)

※ 三重大学生生活協同組合にも本フェアの実施を依頼したが、実施報告書が未着の為、詳細内容は不明。

(4)参加大学生協と実施時期一覧

大学名	実施機関	開催場所
東北大学	2007年11月7日～30日	東北大学生協川内店
早稲田大学	①2007年10月22日～31日 ②2007年11月7日～12月20日 ③2007年11月12日～30日	①早稲田大学生協ライフセンター ②早稲田大学トラベルセンター ③早稲田大学生協理工店購買部
信州大学	2007年11月5日～12月26日	信州大学生協松本購買部
明治薬科大学	2007年12月15日～2008年2月29日	明治薬科大学生活協同組合購買書籍店
三重大学	—	—

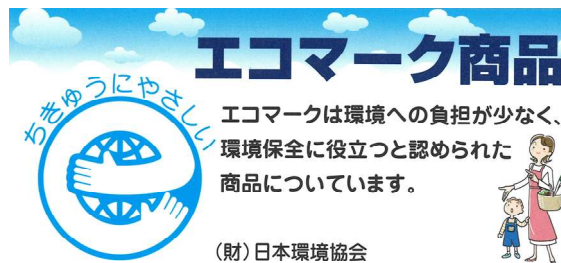
(5)啓発物品一覧

<ポスター>



- ✓ 再生プラスチックを使用したエコマーク商品のCO₂排出量の環境負荷を比較した内容を掲載。
- ✓ データ(イラストレータ)入稿を基本とし、各大学生協それぞれ違う開催時期、プレゼント内容オリジナルの加工を出来るようにした。また、出力ポスターの大きさは自由とした。

<POP>



3. 実施店舗の取り組み状況

(1) 商品棚(フェアコーナーの様子)

<東北大学>



・啓蒙展示

商品のリサイクル工程や実際の素材サンプルなどを展示



商品棚:文具棚の目につく場所(エンド部分)に特設コーナーを設置しエコマーク商品を展開

<早稲田大学>

理工店



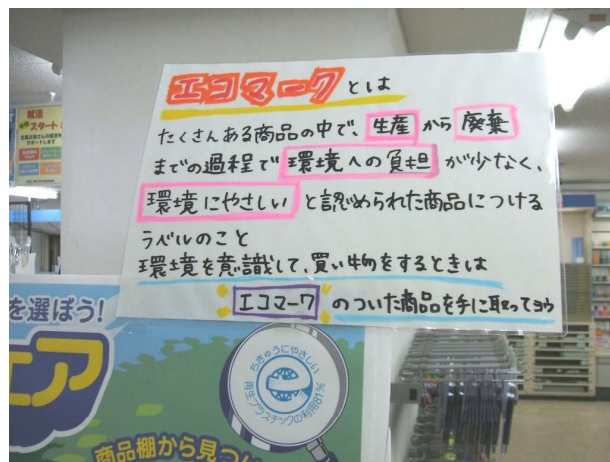
ライフセンター



アンケートを手にする学生



<信州大学>



(2) 広報、告知など

- ・店頭ポスターを8か所掲示(東北大)
- ・環境委員会のHP(ブログ)で宣伝した(早稲田)
- ・エコマークフェアの棚で、商品を販売すると同時にポスターでフェア開催中であることを告知(早稲田@ライフセンターおよび理工キャンパス購買部)
- ・アンケートを実施すると同時にポスターでフェア開催中であることを広報(早稲田@トラベルセンター)
- ・ただ単にアンケート用紙を置いておくだけでなく、トラベルセンターで待っている学生に積極的に声をかけアンケートを回収している(早稲田)

4. 学習会について

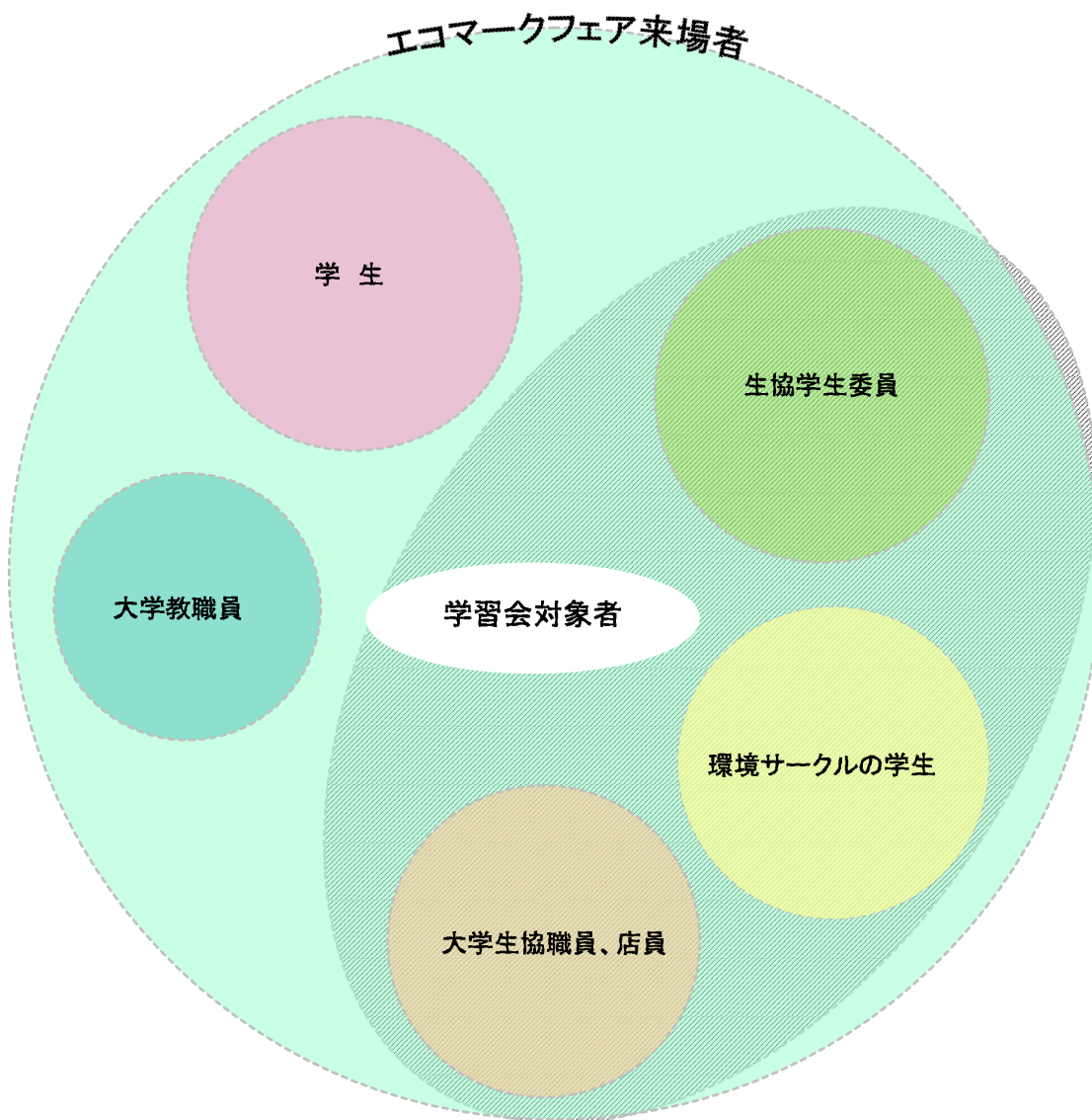
フェアを開催した大学にて、学習会を行った。学習会の内容は、事前に参加する学生に要望を聞きアレンジした。講師はエコマーク事務局スタッフが担当。

(1) 学習会のテーマ、対象者など

大学名	テーマ	対象	人数
早稲田大学	なぜ大学生協でエコマークフェアをするのか？ (エコマークの概要、環境教育の中でのグリーンコンシューマー実践)	関係者＋生協学生委員、環境委員会の学生	12名
信州大学	「こんなところにエコマーク」 「実はこんな商品もエコマーク」 エコマークの歴史・特徴・運営方法などの説明、消火器や、廃棄蛍光灯を原料にしたグラスなどの紹介	学生	10名
東北大学	エコマークの説明(UNIVCOOP 商品との比較)、エコマークフェアの目的、他大学の状況について	生協職員、環境学生委員会 3名、環境サークルルネックスの学生 3名	11名
明治薬科大学	地球温暖化問題とエコマーク ・映画『不都合な真実』を上映し、その後エコマーク商品等の環境配慮商品は温暖化防止に寄与することなどを講義	生協職員、生協学生委員	17名

【参考】対象者について

今回のフェアの学習会は生協職員、店員および生協の学生委員、環境サークルで活動をする学生を対象とした(下図の斜線部分)。



(2)実施状況 (学習会の様子)

<早稲田大学>



<信州大学>



<東北大学>



<明治薬科大学>



(3)参加者の意見、感想など

※以下は原文のまま引用

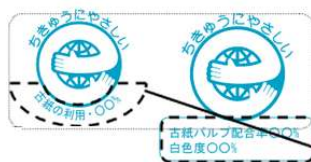
<質問>

- ・ 「ちきゅうにやさしい」という言葉はあいまいだけどいいの？
- ・ 海外のラベルはみんな基準が一緒なのか
- ・ 学生から事務方へ コープの PB 商品でエコマークをつける予定はないのか
- ・ 一度認定を受けた商品の定期的な審査(チェック)は行っているのか？
- ・ 建材や OA 機器にはどんなものがあるのか？見たことがないのでピンとこない。
- ・ 一度とったら更新は？
- ・ エコマークから取得の働きかけをしないのか
- ・ 学生に期待することはなんですか？
- ・ なぜエコマーク表示しないのか？
- ・ ペン本体認定なのに詰め替えボトルが認定でないのはなぜか？

<感想>

- ・ グリーン購入適合品のマークが自主宣言ということがショックだった
- ・ エコマークの下段表示*は数字で環境効果が見えるので役立つ
- ・ もっとライフサイクル全体で環境配慮しているということがわかるマークだといい
- ・ エコマーク自体を紹介するポスターがほしい
- ・ もっともっとエコマークの本当の意味を広める活動をしてほしい
- ・ 大学生協の商品の比率は文具が多いので学生の目に触れやすい
- ・ これから社会に出て行く大学生のための環境教育
- ・ 生協は利益追求が必ずしも優先ではないから、など
- ・ グリーン購入法適合品とコープ商品、エコマーク商品の違いが理解できてよかった
- ・ 基準書を見て、こんな分厚い細かいものだとはびっくりした
- ・ 高級ブランドエコバッグが今年はやっている。もっとデザイン性の高いものが増えると良い
- ・ 意外！消火器の薬剤がリサイクルできること
- ・ 様々なラベルがあることを知った
- ・ 世界のエコラベル、エコマークよりかっこよい(好)ブルーエンジェルが好き
- ・ 防球ネット(野球場やゴルフ練習場にあるネット)が認定されている)がへえ
- ・ 俺は物を良く落とすので生分解プラだとそのまま分解して良いと思う
- ・ 工学部で情報セキュリティ認証の勉強をしたのでエコマークの話は良くわかった。認証大切ですよ。
- ・ 卵の殻で出来たチョコク面白い。殻はどこから回収するのか？

*下段表示の例



マーク下段の環境保全上の効果を表す表示で、商品類型ごとに表示方法が規定されています。

5. アンケートの実施

(1) 調査の目的

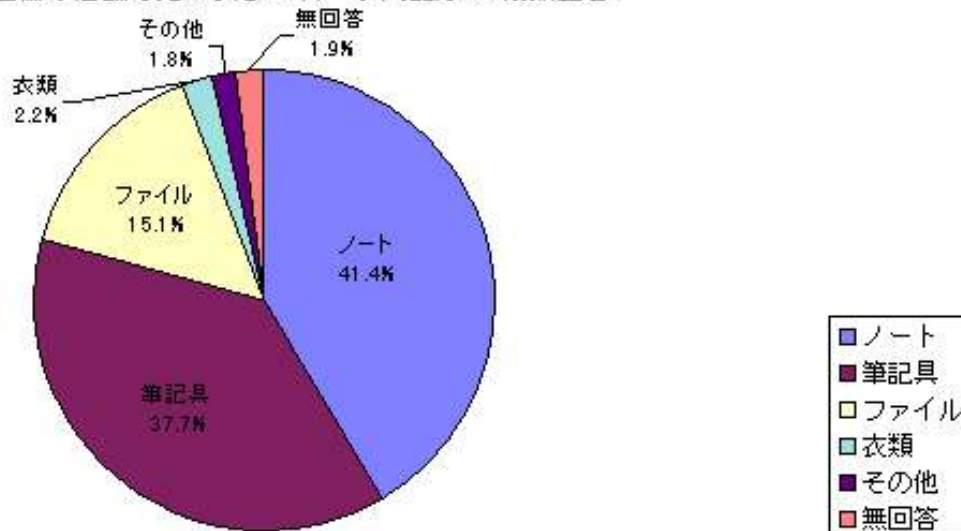
「教育の場からエコマークの普及を図る」本フェアにおいて、学生のエコマークに対するイメージ、環境に対する意識・日頃の環境活動についての把握を目的としてアンケートを実施した。

(2) 調査の概要

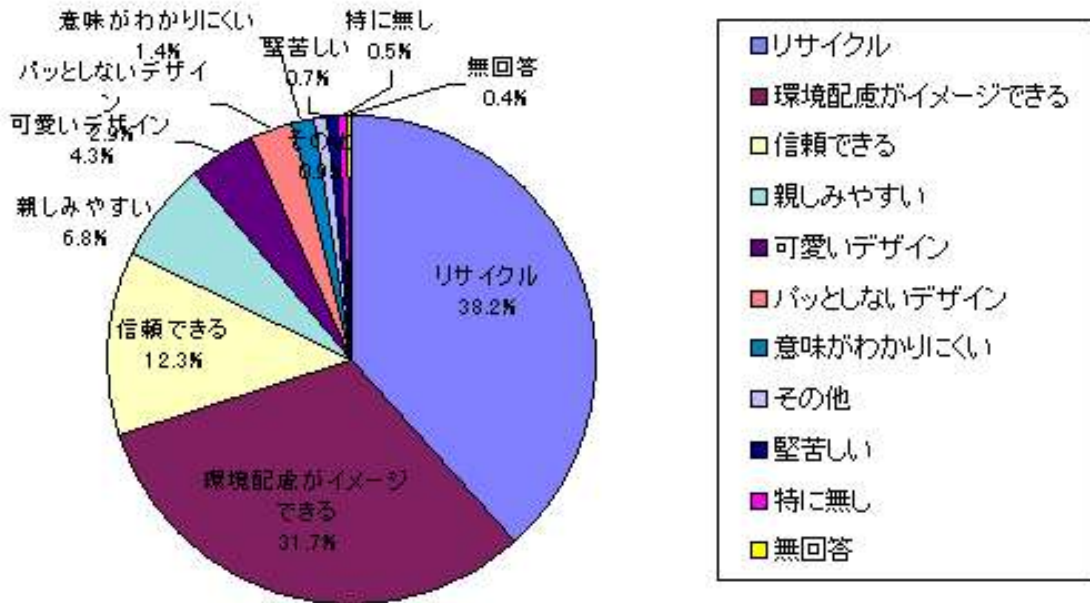
- 調査期間:各大学生協でのキャンペーン期間に準ずる
- 調査対象:3大学(早稲田、東北、信州)の大学(院)生、学校関係者、生協職員、その他(来校者などの生協店舗利用者)
- 回収総数:535枚(早稲田 363枚、東北 55枚、信州 117枚)
- 調査内容:店頭などで配布したアンケート用紙による調査

(3) 調査結果

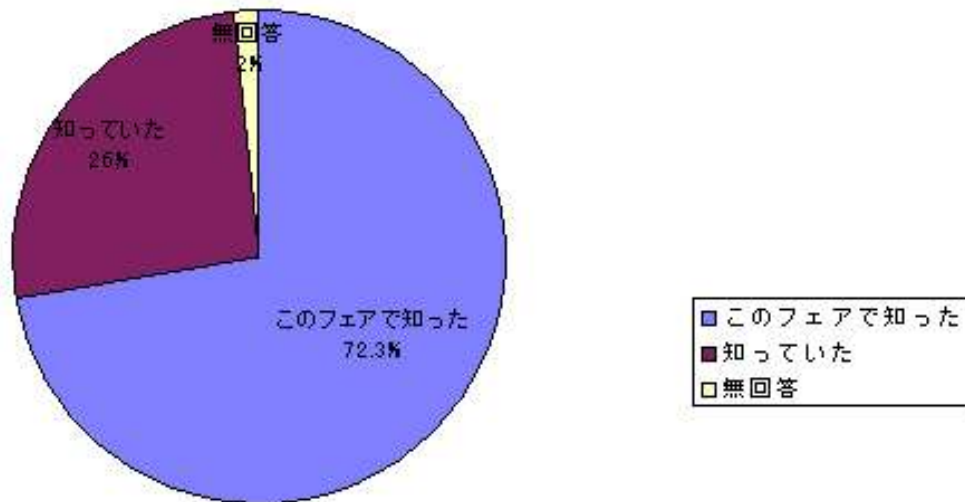
Q1.生協の店舗で見つけたエコマーク商品は？(複数回答)



Q2.エコマークを見て、どのようなイメージをもちますか？



Q3.エコマーク商品が、ライフサイクルでの環境負荷を考慮した認定基準により、第三者によって認定されていることを知っていますか？



Q4.エコマーク商品は、文具や紙製品がポピュラーですが、生協店舗にある商品で、
 どんなものにエコマークがついていたらいいと思いますか？(記述)

<回答率 78%> n=416

上位 5 位までの意見

	分類	人数	詳細回答例
1	大学オリジナルグッズ	97 人	大学グッズ全般、クラッチバッグ
2	食品包装	77 人	お弁当の箱、お菓子の袋、ペットボトルなど
3	紙、プラ製品	35 人	ファイル、本
4	電子機器	28 人	パソコン、AV 機器
5	食品	25 人	※

<ポイント>

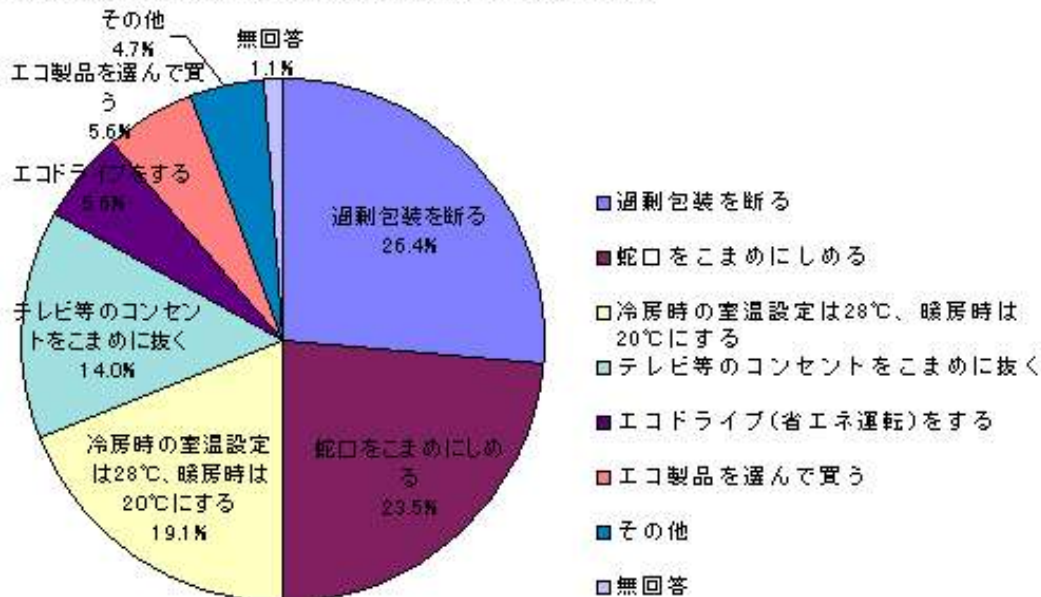
・1位、2位に関しては確かにエコマーク商品の割合が少ないが、3位の紙やプラスチック製品においては、多数の認定商品がある。このことから、エコマークの普及不足はもちろんだが、より広範囲にエコマーク商品を普及する必要性を感じる。

・現在基準の策定を進めている「靴」という答えがあったため、需要があることがわかった。

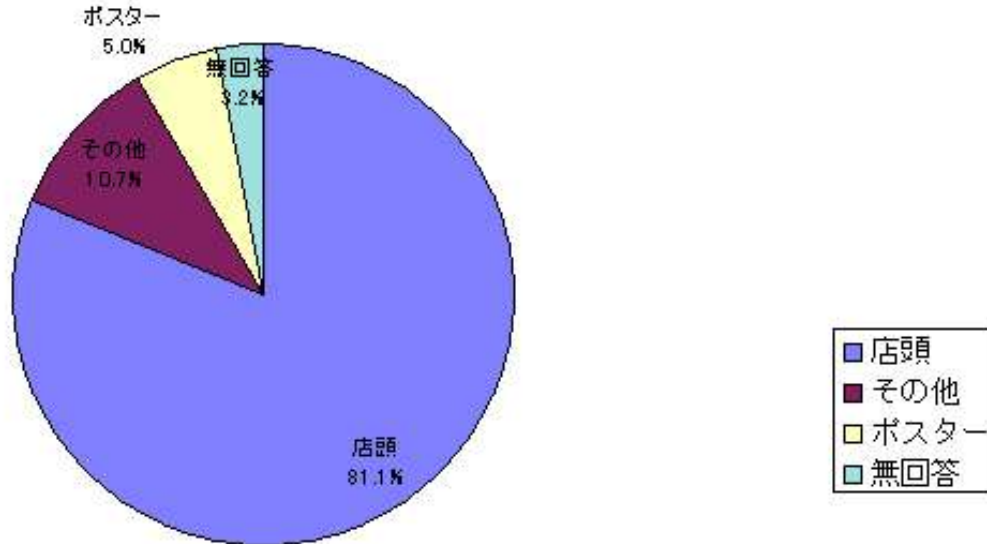
・その他僅差で「衣類」や「記録メディア」という回答も多かった

※食品そのものを指しているのか(有機JAS等のイメージ)、2位の食品包装の意味なのか判断がつかないものも多数

Q5.地球温暖化防止のために、普段何を心がけていますか？



Q6.どのようにして今回のフェアを知りましたか？



※その他は友人等からのクチコミという回答が多数を占めた

Q7. エコマークやエコマークフェアに対する要望、ご意見などをご自由にお書きください。

<主な回答内容>

■フェアに関する意見

- ・今世の中でとても大切なことだと思う。自分の大学がその様なことに意欲的に取り組んでいるのはうれしい。
- ・こういうキャンペーンをすることで興味を持たたのでよかったと思う。
- ・環境配慮の意識を高めるいいフェアだと思います。
- ・フェアで初めて知ることが多く勉強になりました。ぜひまたやってもらえたら嬉しいです。
- ・エコマークの意味を知らない人がまだまだ多いと思うので、もっとその意味を多くの人に知ってもらうようなポスター等を作るのがいいのでは
- ・もう少し目立つようにアピール(宣伝)してほしい
- ・フェアの認知度を上げるには、店員の声かけなどもっとやった方が効果的だと思う。

■エコマークに関する意見

- ・これからもエコマークが付いた商品が増えることを望む
- ・もう少し大きく表示してほしい
- ・エコマーク商品を買うことによって、どのように環境に役立っているのかいまいちわからない。

■その他(生協店舗に対する意見など)

- ・もっとごみの分別に対する学生の意識傾向を呼びかけて下さると嬉しいです。モラルがなくなっているので…

(4)プレゼントについて

アンケート回答者に渡すプレゼントの内容、配布方法(もれなくか抽選かなど)は各大学自由に設定できることとした。希望があればエコマークからはプレゼントの資金を提供(10万円を上限)した。

各大学のプレゼント内容は以下の通り



写真: 早稲田大学のオリジナルプレゼント
(エコマーク認定品)


大学名	内容	配布方法
早稲田大学	エコマーク認定の早稲田オリジナルエコバッグ	先着順でもれなく
東北大学	エコバッグ(エコマーク事務局オリジナル)	
信州大学	エコバッグ(エコマーク事務局オリジナル)	先着順でもれなく

早稲田大学生協はエコマーク事務局からの協賛金を使い、早稲田大学オリジナルのエコバッグを配り、アンケートに答えてくれた人に配布した。早大生協独自に、オリジナルエコバッグについて実施したアンケートでも、このエコバッグは好評で、今後アンケートをもとにエコバッグを改良し、環境商品として生協で販売したいと考えている。

<参考>

・アンケート用紙

エコマークフェア 2007
～アンケートにご協力お願いします～



これがエコマーク！
お店で探してね。

Q1. 生協の店舗で見つけたエコマーク商品は？（複数回答可）
 文具 パソコン 衣服 その他（ ）

Q5. 地球温暖化防止のために、普段何を心がけていますか？
 冷房の設定温度は28℃、暖房時の室温は20℃にする 蛇口はこまめにしめる エコドライブをする エコ製品を選んで買う 過剰包装を断る コンセントからこまめに抜く その他（ ）

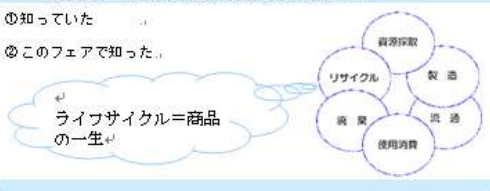
Q2. エコマークを見て、どのようなイメージをもちますか？
 信頼できる リサイクル デザインが可愛い デザインがカッコ悪い その他（ ）

Q6. どのようにして今回のフェアを知りましたか？
 店頭 ポスター その他（ ）

Q3. どんなものにエコマークがついていたらいいと思いますか？
 レストラン ホテル その他（ ）

Q7. エコマークや今回のエコマークフェアに対する要望、ご意見など。

Q4. エコマーク商品が、ライフサイクルでの環境負荷を考え、第三者によって認証されていることを知っていますか？
 知っていた
 このフェアで知った



ライフサイクル=商品の一生

お名前 当選者発表に必要な場合のみ？ 男・女

 大学 _____ 学部 _____ 学科 _____ 年 _____
 その他（一般など）

アンケートへのご協力、誠にありがとうございます。皆様からご提供いただいた個別の情報につきましては、当選者の発表またアンケートの目的以外での利用は致しません。是非、プレゼントに応募してね。

6. 総括

【成果、考察、課題など】

本フェアの一番の目的は「エコマークを認知してもらうこと」であった。アンケート結果(Q3、P12参照)をみると、「第三者によって認証されている」ことや「ライフサイクルを考慮している」といったエコマークのきちんとした意味を「このフェアで知った」という回答が7割を超えていることから、その目的は概ね達成し、フェアを実施した意義があったと思われる。またグリーンコンシューマーの育成という面でも、最初にアンケートの目標回収数を設定し、その目標を達成するための棚作りなど学生の創意工夫でフェアを盛り上げていくことは良い経験になったのではないかと考えられる。

しかし、こういった環境に関する意識といったソフト面だけでなく、単にものを売るという生協の本業と照らし合わせ費用対効果の面から考えると、このフェアが売り上げに貢献したとは言い難い。今後本フェアを広げていくためには、供給側と需要側の関係がWIN-WINになるよう、つまり生協側は売り上げアップに繋がり、学生側は環境に関しての知識を得る、環境意識の向上に結びつくといった結果を出していくことが必要だ。

また、フォローアップの面でも課題が残った。サポートする側(大学生協連およびエコマーク事務局)として、一般の小売業とは違う特色を持った大学生協は、あくまで会員組織であるため、今回のような取組みについては協力依頼のレベルにとどまらざるを得ない側面がある。今回、繁忙期と重なりプライオリティが落ちたり、活動工数を十分確保できない場合のフォローアップは十分でなかったと考えている。

以上を踏まえ、次年度は、引き続き学習会の実施を多数の大学に働きかけると同時に、このフェアを販売促進の機会創出として、有効利用していただくための対策を、大学生協連と共に具体的に検討していきたい。